

# 在宅介護実態調査の集計結果

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年3月

<川越市>



# 目次

1 調査概要.....	[P. 1]
2 基本調査項目（A票）.....	[P. 2]
(1) 世帯類型.....	[P. 2]
(2) 家族等による介護の頻度.....	[P. 2]
(3) 主な介護者の本人との関係.....	[P. 3]
(4) 主な介護者の性別.....	[P. 4]
(5) 主な介護者の年齢.....	[P. 4]
(6) 主な介護者が行っている介護.....	[P. 5]
(7) ヤングケアラーの有無.....	[P. 5]
(8) 介護のための離職の有無.....	[P. 7]
(9) 施設等検討の状況.....	[P. 7]
(10) 訪問診療の利用の有無.....	[P. 8]
(11-1) 定期的な通院の有無.....	[P. 8]
(11-2) 通院している診療科目.....	[P. 9]
(11-3) 通院している医療機関の所在地.....	[P. 9]
(11-4) 通院の頻度.....	[P. 10]
(11-5) 通院の方法.....	[P. 10]
(11-6) 通院時の家族等の付き添いの有無.....	[P. 11]
(11-7) 通院時に付き添いをする家族等.....	[P. 11]
(12) かかりつけ医の有無.....	[P. 12]
(13-1) 前回から今回の認定調査期間中の入院の有無.....	[P. 12]
(13-2) 入院のきっかけとなった主な病気.....	[P. 13]
(13-3) 入院のきっかけとなった主な病気に関する服薬の有無.....	[P. 13]
(13-4) 薬の飲み忘れの有無.....	[P. 14]
(13-5) 薬の飲み忘れの頻度.....	[P. 14]
3 主な介護者への調査項目（B票）.....	[P. 15]
(1) 主な介護者の勤務形態.....	[P. 15]
(2) 主な介護者の働き方の調整の状況.....	[P. 15]
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識.....	[P. 16]
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護.....	[P. 17]

4 要介護認定データ.....	[P. 18]
(1) 年齢.....	[P. 18]
(2) 性別.....	[P. 18]
(3) 二次判定結果（要介護度）.....	[P. 19]
(4) サービス利用の組み合わせ.....	[P. 19]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数.....	[P. 20]
(6) 通所系サービスの合計利用回数.....	[P. 20]
(7) 短期系サービスの合計利用回数.....	[P. 21]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度.....	[P. 21]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度.....	[P. 22]

5 調査票.....	[P. 23]
------------	---------

## 6 備考

- ・ A票…調査対象者に関する調査項目
- ・ B票…主な介護者に関する調査項目
- ・ 「★」は、オプション調査項目であることを示しています。
- ・ 「●」は、川越市独自の調査項目であることを示しています。

## 1 調査概要

### (1) 調査の目的

本市の高齢者保健福祉施策の指針である「すこやかプラン・川越 川越市高齢者保健福祉計画・第9期川越市介護保険事業計画」の策定に伴い、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するために本調査を実施する。

### (2) 調査の概要

#### 【調査対象】

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請又は区分変更申請に伴う認定調査を受ける（受けた）方

#### 【調査方法】

認定調査員による聞き取り調査

更新申請…331人 区分変更申請…271人

合計…602人

※構成比は、無回答を含む数値で算出。

#### 【調査期間】

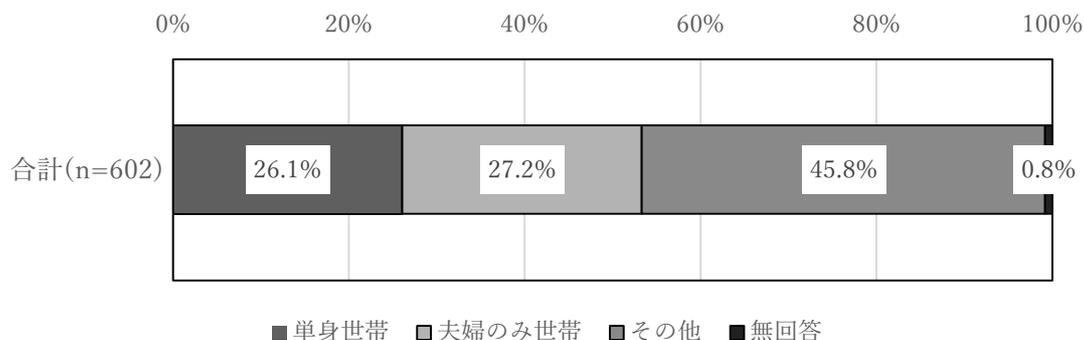
令和4年6月20日～令和5年2月10日

## 2 基本調査項目（A票）

### (1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く45.8%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（27.2%）」、「単身世帯（26.1%）」となっている。

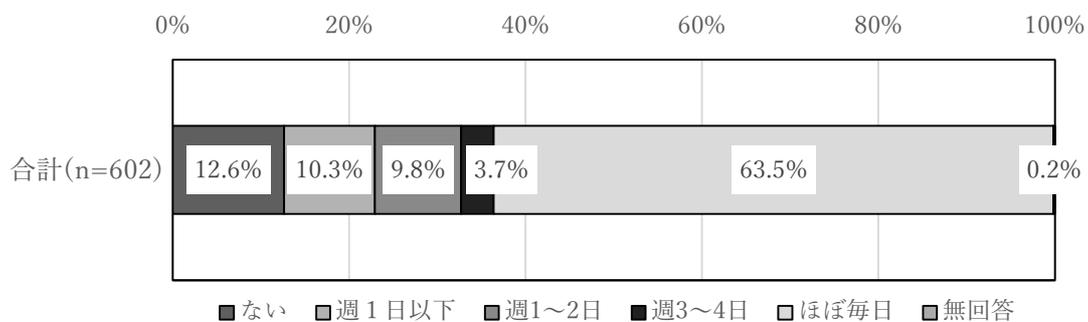
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



### (2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く63.5%となっている。次いで、「ない（12.6%）」、「週1日以下（10.3%）」となっている。

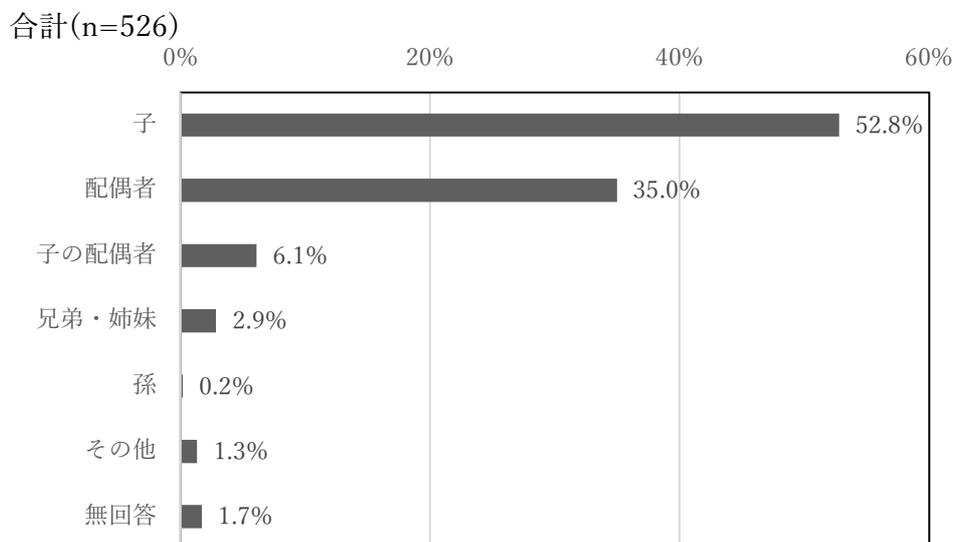
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の本人との関係

「子」の割合が最も高く 52.8%となっている。次いで、「配偶者（35.0%）」、「子の配偶者（6.1%）」となっている。

図表 1-3 ★主な介護者の本人との関係（単数回答）



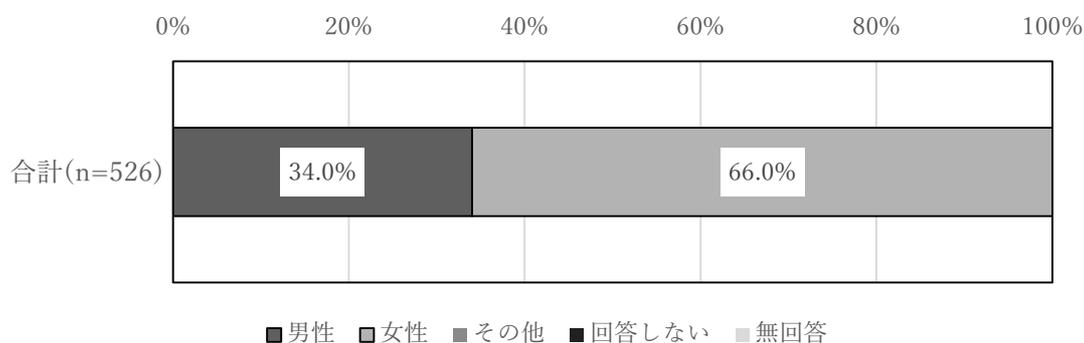
図表 1-4 ●介護者「同居・別居」「主な介護者・そのほかの介護者」の内訳

介護者	主な介護者		そのほかの介護者	
	同居	別居	同居	別居
配偶者	96.7%	3.3%	75.0%	25.0%
子	53.6%	46.4%	33.1%	66.9%
子の配偶者	71.9%	28.1%	45.2%	54.8%
孫	100.0%	0.0%	56.3%	43.8%
兄弟・姉妹	40.0%	60.0%	14.3%	85.7%
その他	0.0%	100.0%	25.0%	75.0%

#### (4) 主な介護者の性別

「女性」の割合が最も高く 66.0%となっている。次いで、「男性 (34.0%)」となっている。

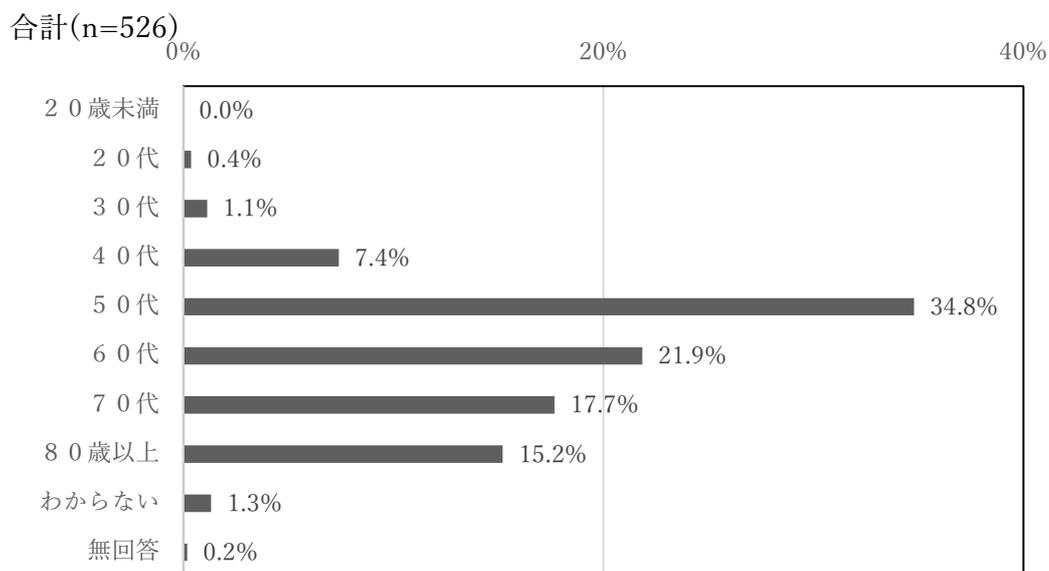
図表 1-5 ★主な介護者の性別 (単数回答)



#### (5) 主な介護者の年齢

「50代」の割合が最も高く 34.8%となっている。次いで、「60代 (21.9%)」、「70代 (17.7%)」となっている。

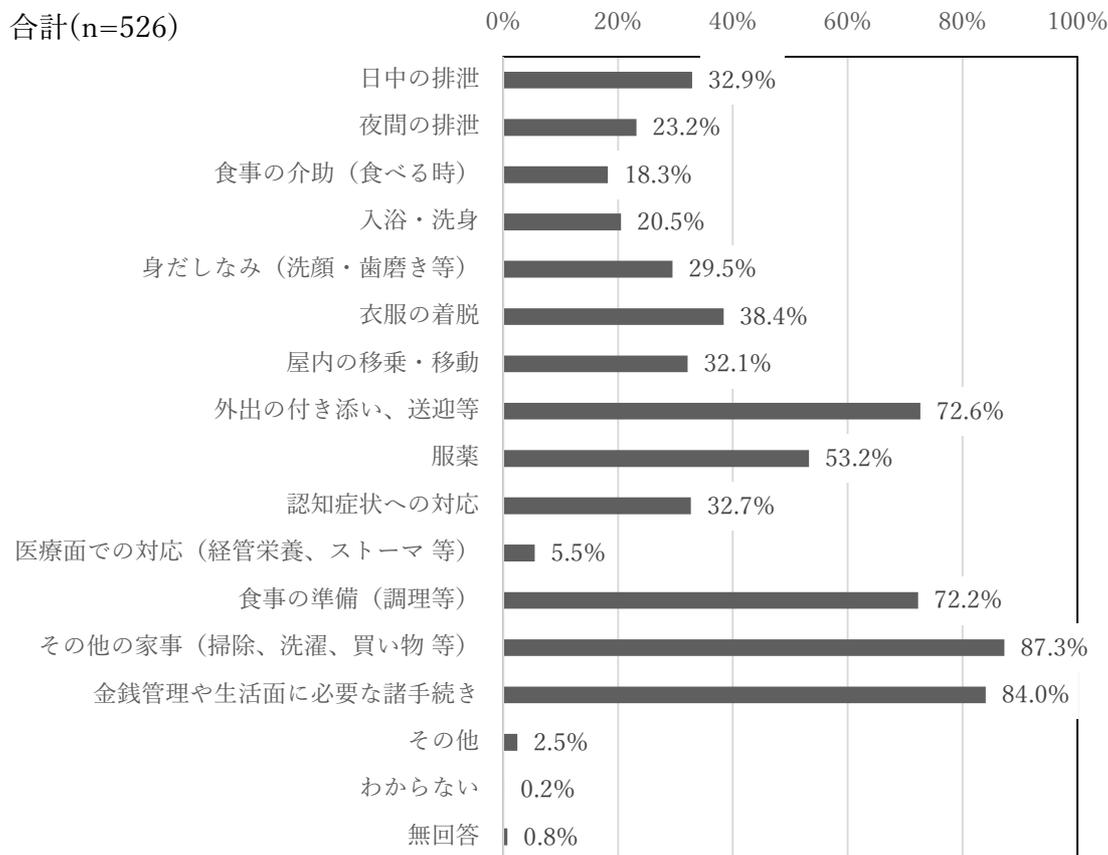
図表 1-6 主な介護者の年齢 (単数回答)



(6) 主な介護者が行っている介護

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高く 87.3%となっている。次いで、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き（84.0%）」、「外出の付き添い、送迎等（72.6%）」となっている。

図表 1-7 ★主な介護者が行っている介護（複数回答）



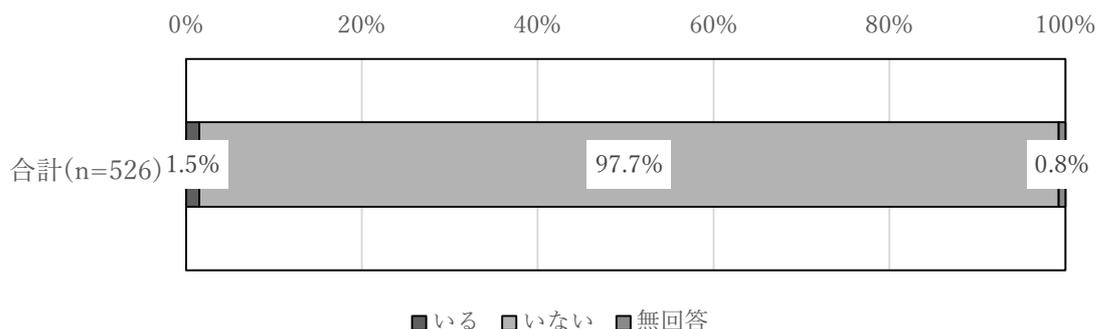
※その他の内容…安否確認、清拭、うつ症状への対応 など

(7) ヤングケアラーの有無

介護者（家族等）支援施策を検討するにあたり、ヤングケアラーの実態を把握するため、調査項目を設定した。

介護者の方の中に、18歳未満の方が「いない」の割合が最も高く 97.7%となっている。次いで、「いる（1.5%）」となっている。

図表 1-8 ●ヤングケアラーの有無（単数回答）



図表 1-9 ●ヤングケアラーの就労・就学状況及び行っている介護等

就労・就学状況		行っている介護等
1	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症状への対応</li> <li>・きょうだいのケア</li> </ul>
2	高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）</li> <li>・その他（主介護者外出の際の見守り）</li> </ul>
3	その他（専門生）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症状への対応</li> <li>・食事の準備（調理等）</li> </ul>
4-1※1	高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の介助（食べる時）</li> <li>・認知症状への対応</li> <li>・その他（スロープ設置）</li> </ul>
4-2※1	高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の介助（食べる時）</li> <li>・認知症状への対応</li> <li>・その他（スロープ設置）</li> </ul>
5-1※2	高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内の移乗、移動</li> <li>・食事の準備（調理等）</li> <li>・その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）</li> </ul>
5-2※2	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内の移乗、移動</li> <li>・食事の準備（調理等）</li> <li>・その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）</li> </ul>
6	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内の移乗、移動</li> <li>・認知症状への対応</li> </ul>
7	高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）</li> </ul>
8	高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の準備（調理等）</li> <li>・その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）</li> </ul>

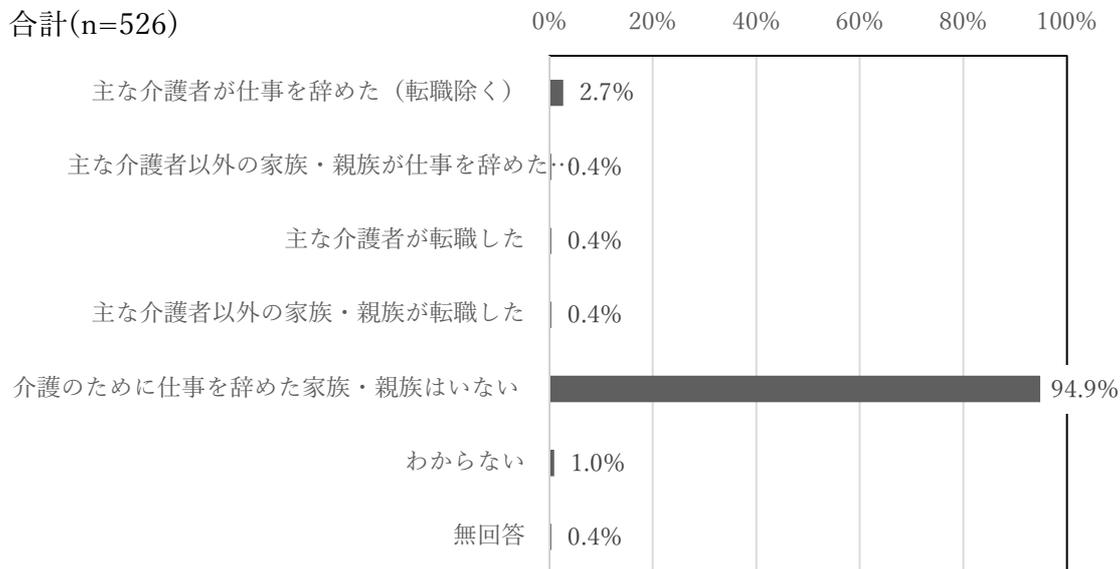
※1 4-1、4-2 は1人の調査対象者に対して、18歳未満の介護者について2人分の回答があった。

※2 5-1、5-2 は1人の調査対象者に対して、18歳未満の介護者について2人分の回答があった。

(8) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 94.9%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（2.7%）」、「わからない（1.0%）」となっている。

図表 1-10 介護のための離職の有無（複数回答）



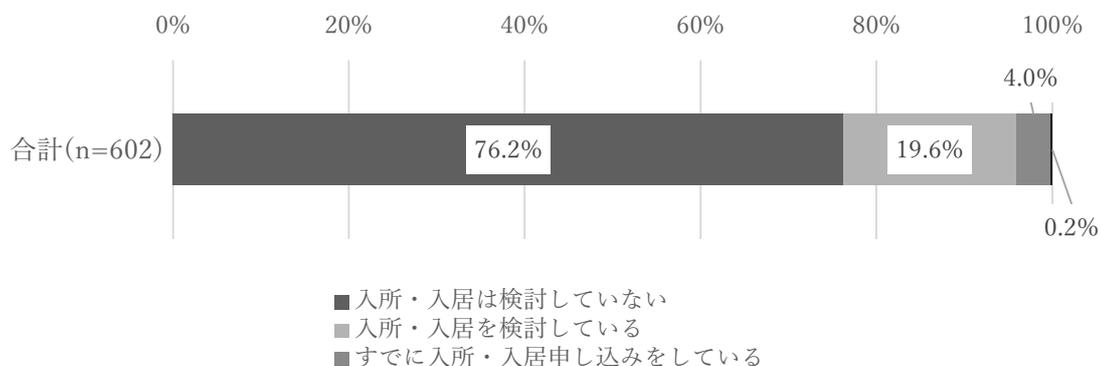
主な介護者が仕事を辞めた、又は転職した理由（回答の一部）

- ・目が離せないため夜勤のない所へ転職した。
- ・本人の付き添いが必要なので、仕事に行くことができない。
- ・他県で就労していたが、本人と同居するため仕事をやめ転居した。
- ・身体的介助が必要な為、独居が困難になった。
- ・パートの仕事に就いていたが介護のために、泊まり込むことが多くなり、辞めざるを得なくなった。

(9) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 76.2%となっている。次いで、「検討中（19.6%）」、「申請済み（4.0%）」となっている。

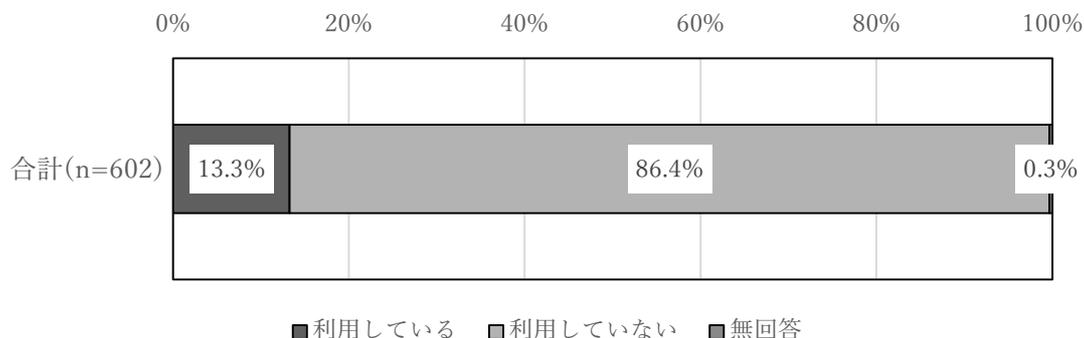
図表 1-11 施設等検討の状況（単数回答）



(10) 訪問診療の利用の有無

「利用していない」の割合が最も高く86.4%となっている。次いで、「利用している(13.3%)」となっている。

図表 1-12 ★訪問診療の利用の有無（単数回答）

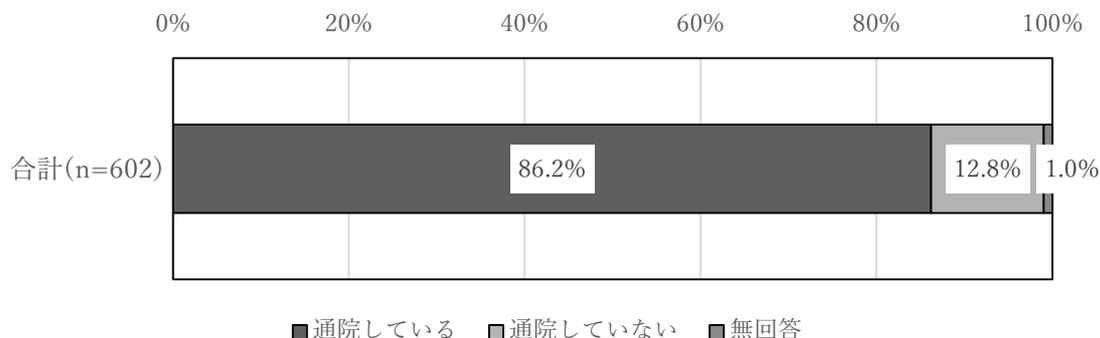


(11-1) 定期的な通院の有無

介護者（家族等）が不安を感じる介護のうち「外出の付き添い・送迎等」の実態を把握するため、通院・付き添いの状況を独自調査項目として設定した。

「通院している」の割合が最も高く86.2%となっている。次いで、「通院していない(12.8%)」となっている。

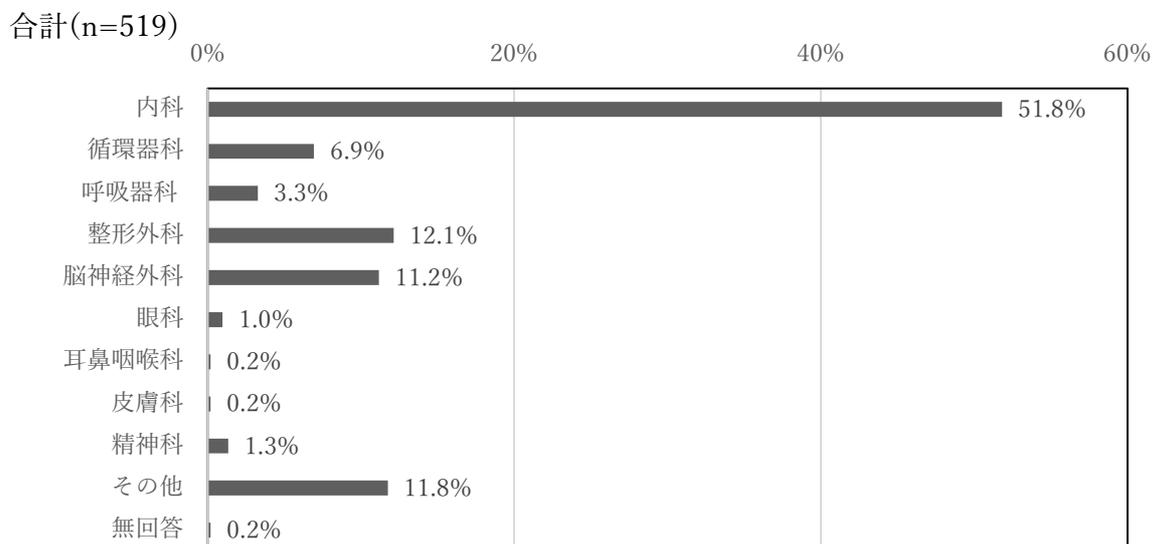
図表 1-13 ●医療機関への定期的な通院の有無（単数回答）



### (11-2) 通院している診療科目

「内科」の割合が最も高く 51.8%となっている。次いで、「整形外科(12.1%)」、「その他(11.8%)」、「脳神経外科 (11.2%)」となっている。

図表 1-14 ●通院している診療科目 (単数回答)

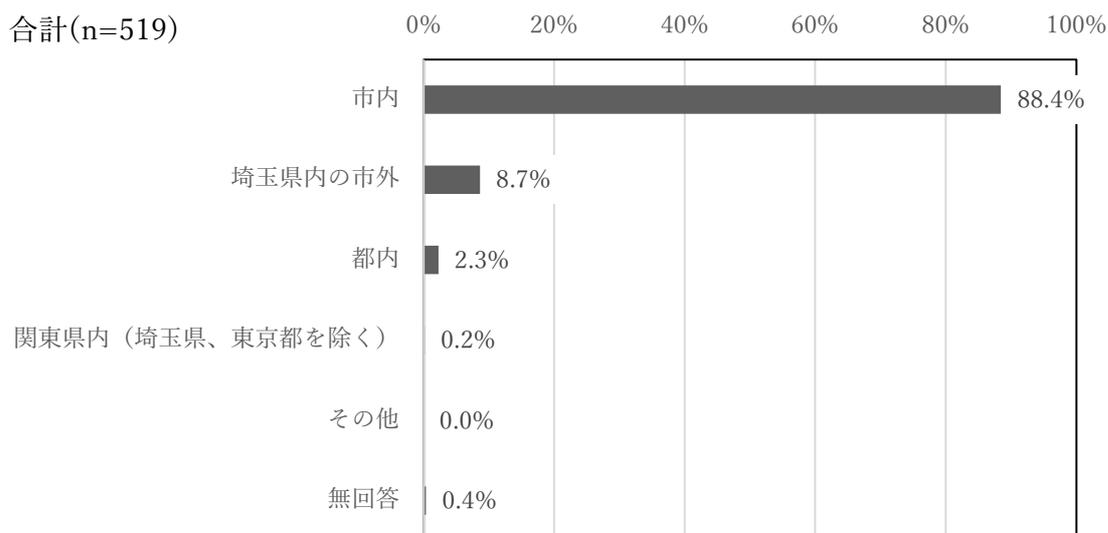


※その他の内容…泌尿器科、脳神経内科、認知症外来 など

### (11-3) 通院している医療機関の所在地

「市内」の割合が最も高く 88.4%となっている。次いで、「埼玉県の市外 (8.7%)」、「都内 (2.3%)」となっている。

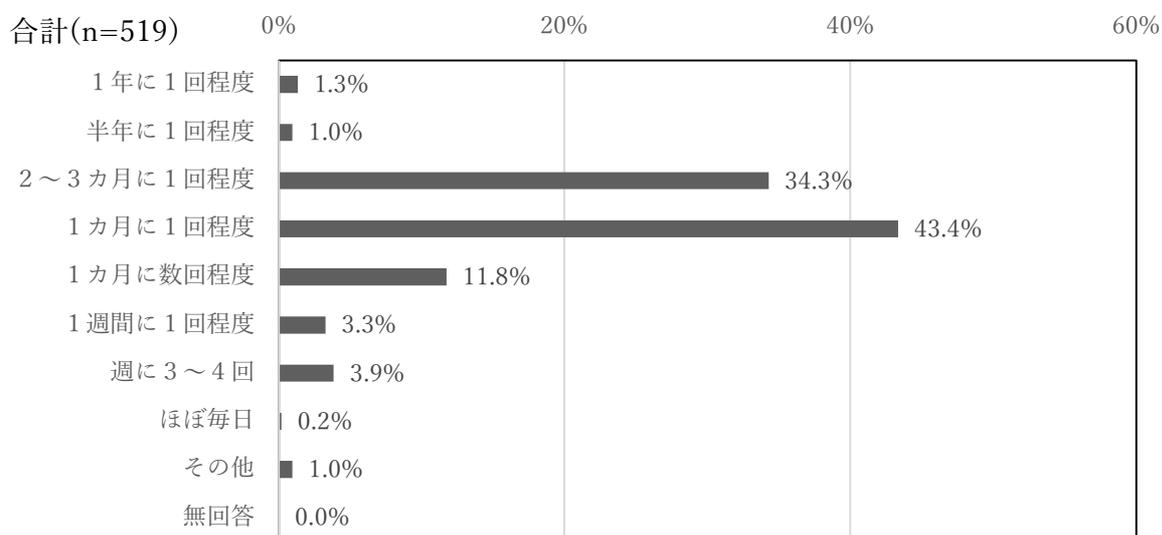
図表 1-15 ●通院している医療機関の所在地 (単数回答)



#### (11-4) 通院の頻度

「1ヶ月に1回程度」の割合が最も高く43.4%となっている。次いで、「2～3ヶ月に1回程度（34.3%）」、「1ヶ月に数回程度（11.8%）」となっている。

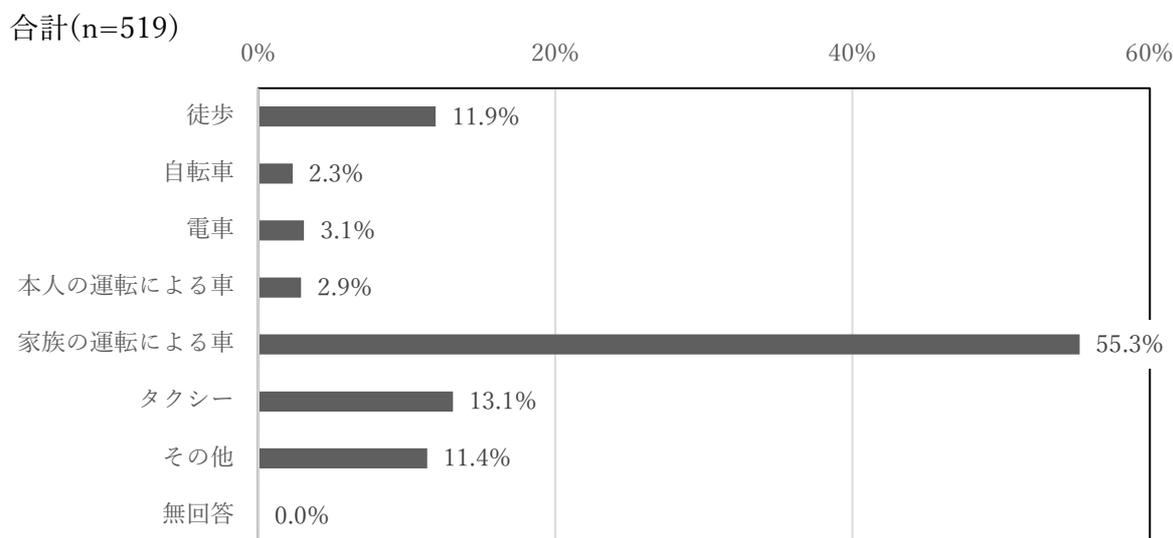
図表 1-16 ●通院の頻度（単数回答）



#### (11-5) 通院の方法

「家族の運転による車」の割合が最も高く55.3%となっている。次いで、「タクシー（13.1%）」、「徒歩（11.9%）」となっている。

図表 1-17 ●通院の方法（単数回答）

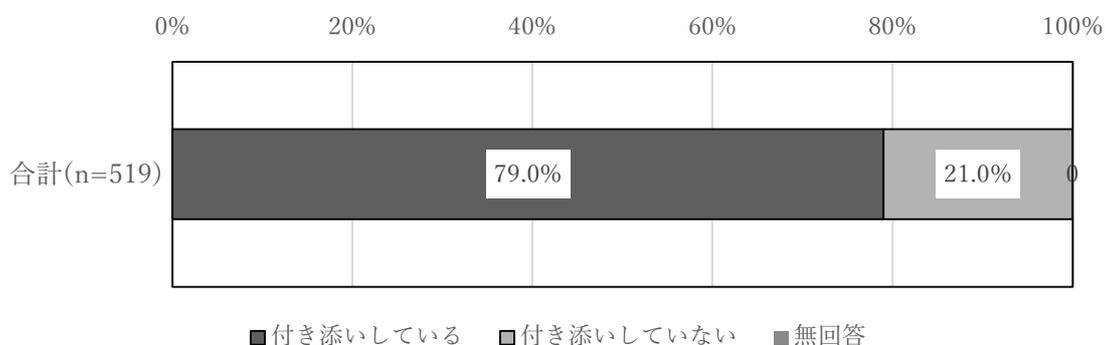


※その他の内容…友人・知人の運転による車、病院の送迎、施設職員の車 など

(11-6) 通院時の家族等の付き添いの有無

「付き添いしている」の割合が最も高く 79.0%となっている。次いで、「付き添いしていない (21.0%)」となっている。

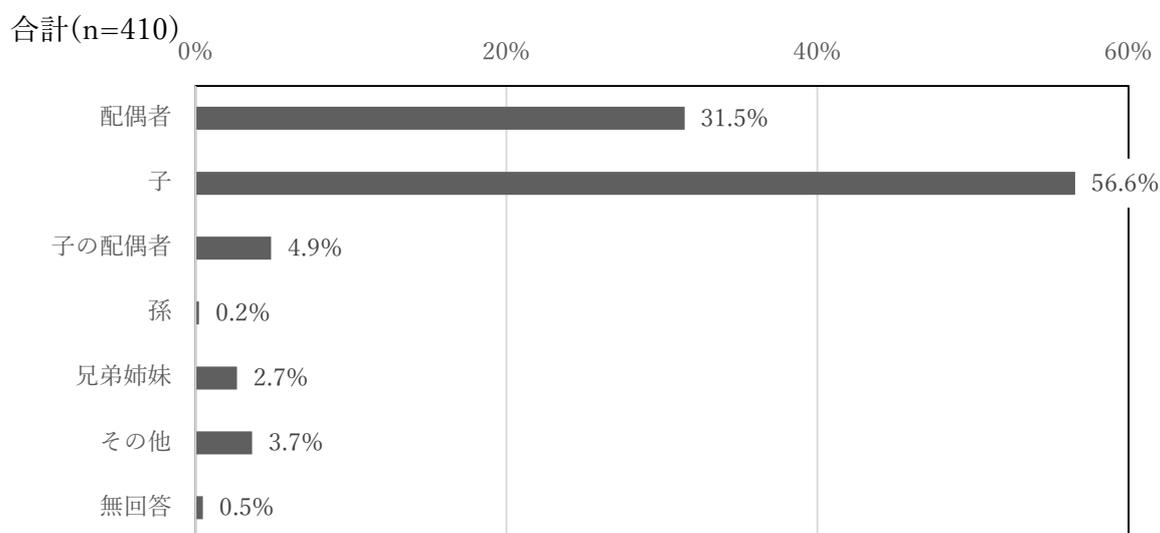
図表 1-18 ●通院時の家族等の付き添い有無 (単数回答)



(11-7) 通院時に付き添いをする家族等

「子」の割合が最も高く 56.6%となっている。次いで、「配偶者 (31.5%)」、「子の配偶者 (4.9%)」となっている。

図表 1-19 ●通院時に付き添いをする家族等 (単数回答)

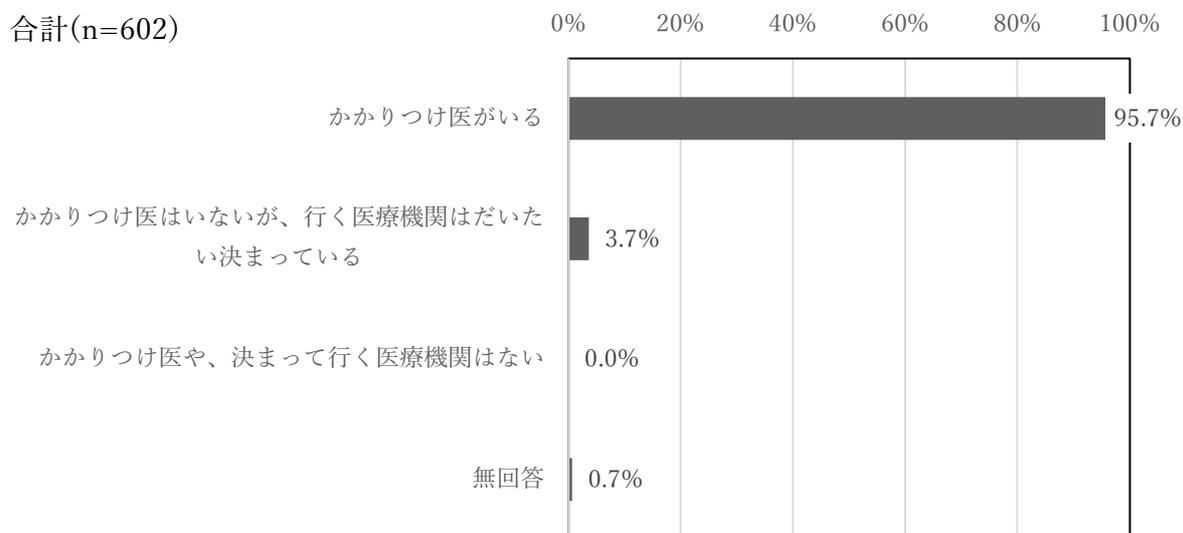


※その他の内容…友人、知人、施設職員 など

(12) かかりつけ医の有無

「かかりつけ医がいる」の割合が最も高く 95.7%となっている。次いで、「かかりつけ医はいないが、行く医療機関はだいたい決まっている (3.7%)」となっている。

図表 1-20 ●かかりつけ医の有無 (単数回答)

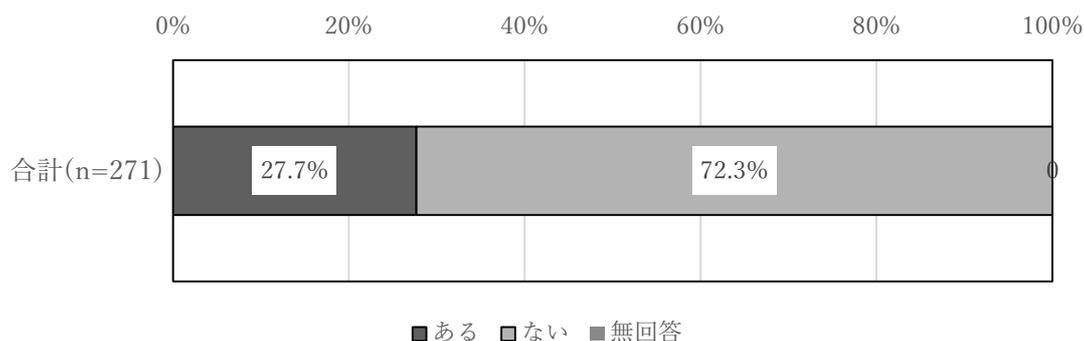


(13-1) 前回から今回の認定調査期間中の入院の有無

在宅生活の継続を阻害する要因として考えられる疾病の再発及びその疾病に対する服薬管理状況の実態を把握するため、独自調査項目として設定した。

入院したことが「ない」の割合が最も高く 72.3%となっている。次いで、「ある (27.7%)」となっている。

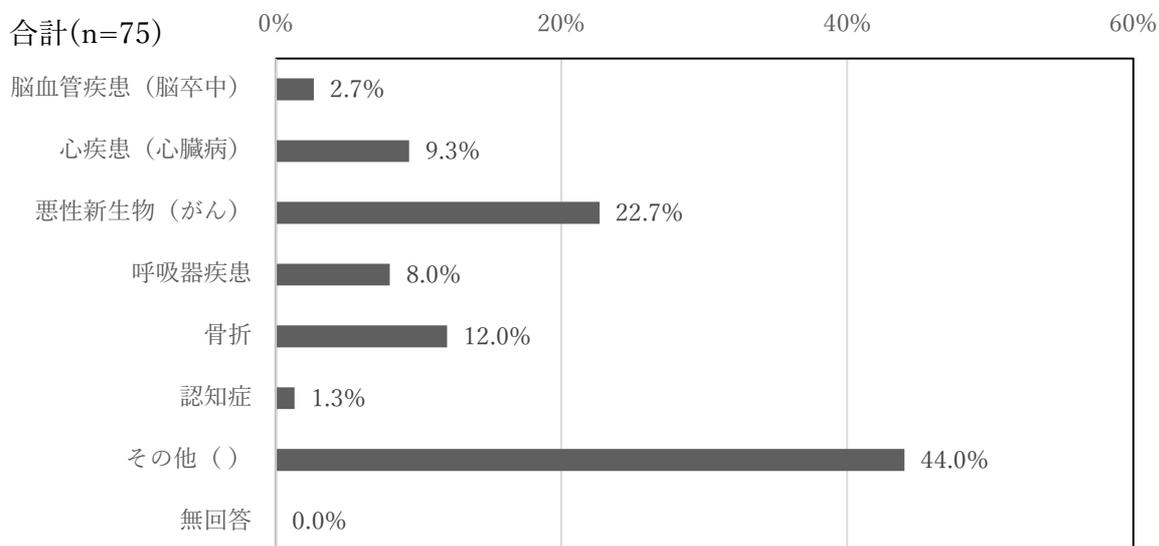
図表 1-21 ●前回から今回の認定調査期間中の入院の有無 (単数回答)



(13-2) 入院のきっかけとなった主な病気

「その他」の割合が最も高く 44.0%となっている。次いで、「悪性新生物(がん) (22.7%)」、「骨折 (12.0%)」となっている。

図表 1-22 ●入院のきっかけとなった主な病気 (単数回答)

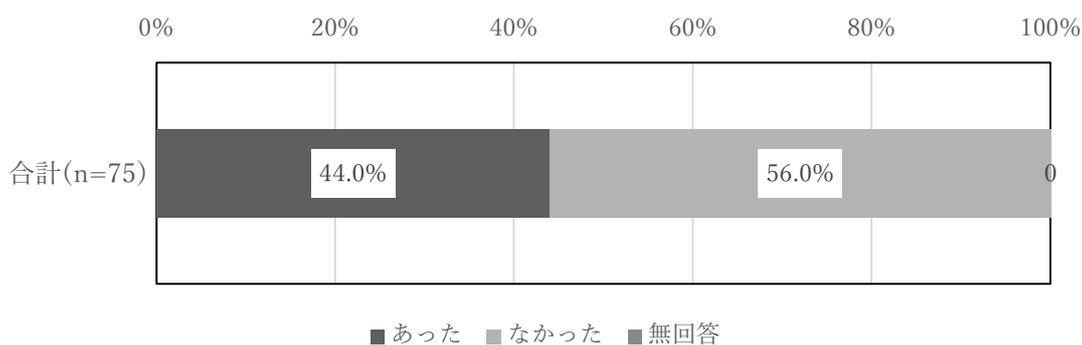


※その他の回答内容…新型コロナウイルス感染症、脱水、熱中症、誤嚥性肺炎 など

(13-3) 入院のきっかけとなった主な病気に関する服薬の有無

服薬が「なかった」の割合が最も高く 56.0%となっている。次いで、「あった (44.0%)」、となっている。

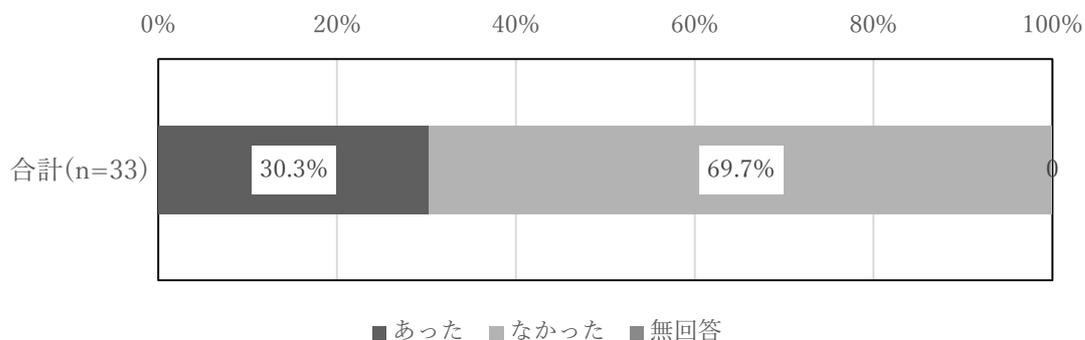
図表 1-23 ●入院のきっかけとなった主な病気に関する服薬の有無 (単数回答)



### (13-4) 薬の飲み忘の有無

飲み忘れが「なかった」の割合が最も高く 69.7%となっている。次いで、「あった (30.3%)」となっている。

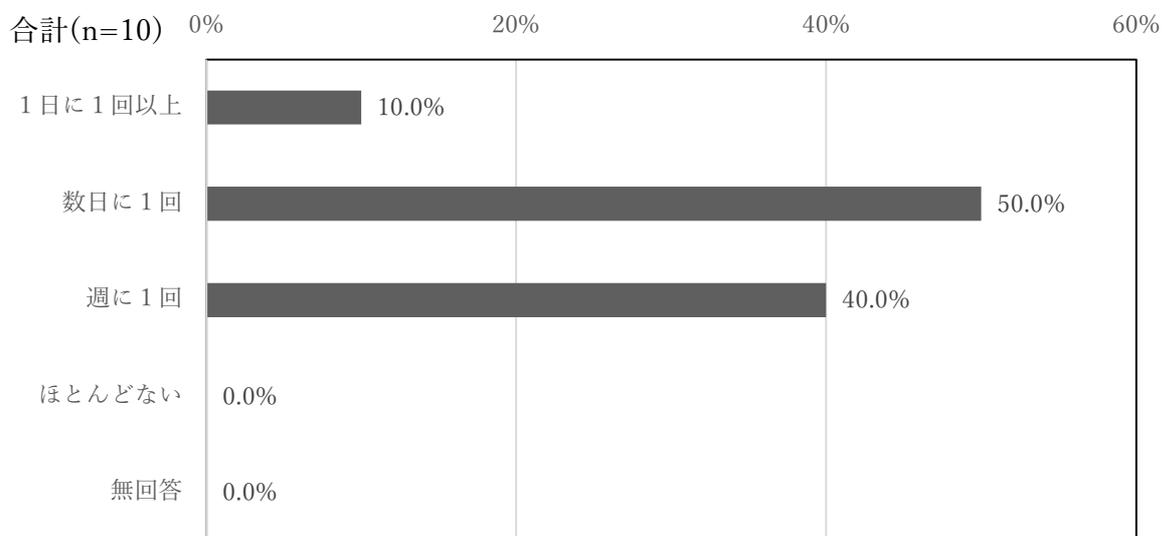
図表 1-24 ●薬の飲み忘れの有無 (単数回答)



### (13-5) 薬の飲み忘れの頻度

「数日に1回」の割合が最も高く 50.0%となっている。次いで、「週に1回 (40.0%)」、「1日に1回以上 (10.0%)」となっている。

図表 1-25 ●薬の飲み忘れの頻度 (単数回答)

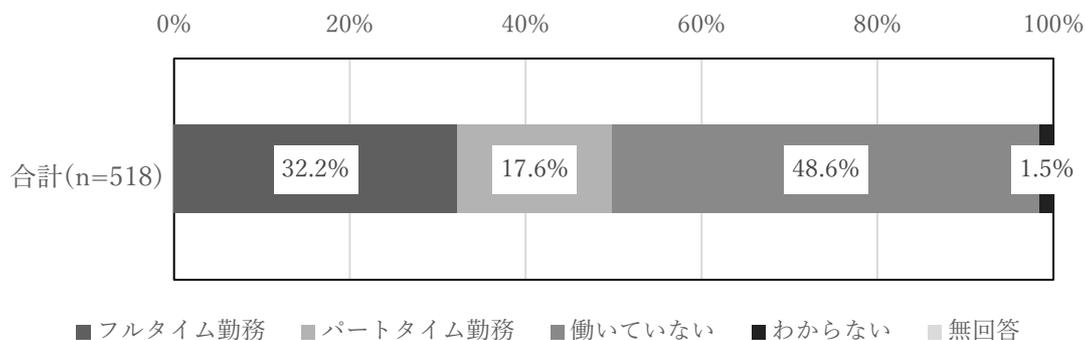


### 3 主な介護者への調査項目（B票）

#### (1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 48.6%となっている。次いで、「フルタイム勤務 (32.2%)」、「パートタイム勤務 (17.6%)」となっている。

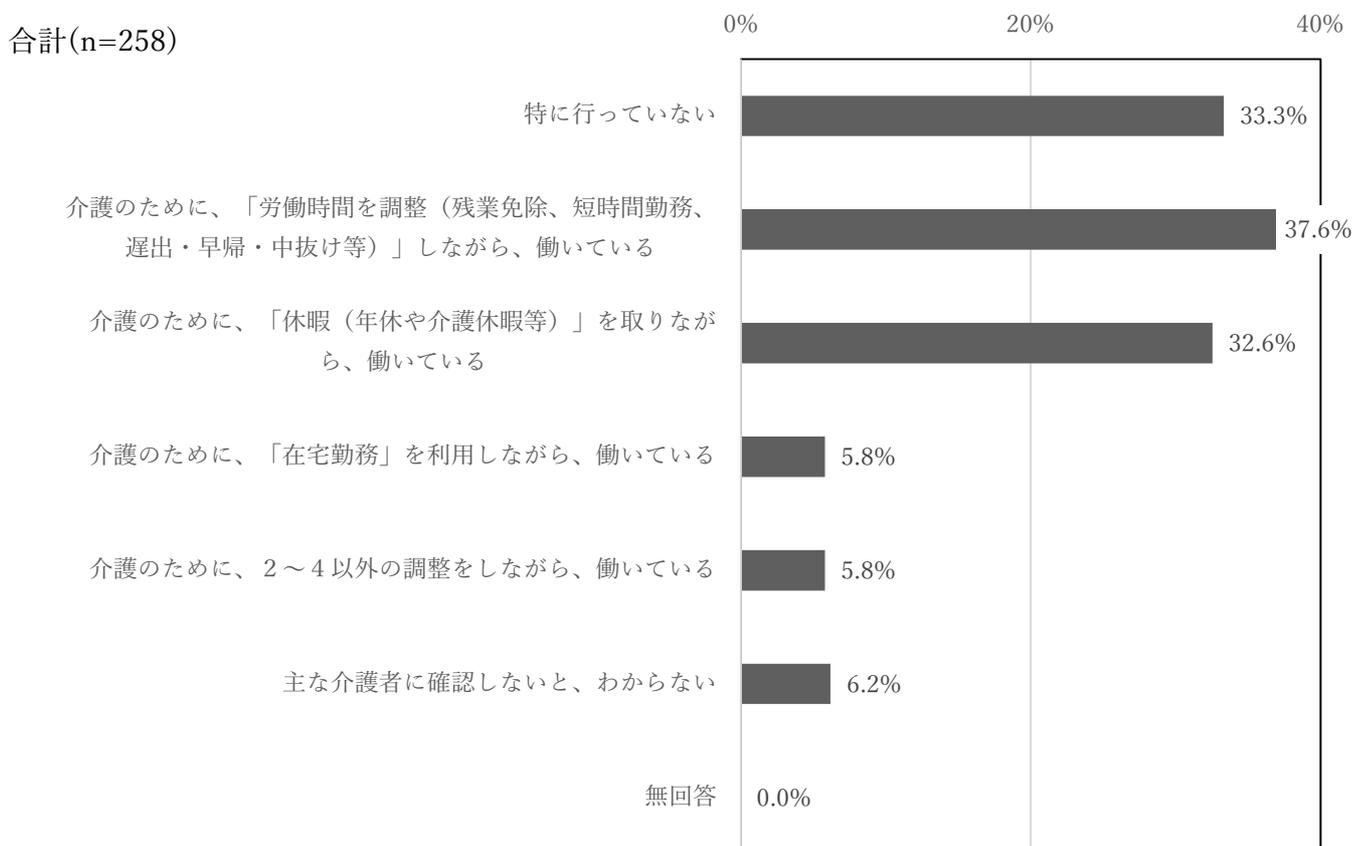
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



#### (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く 37.6%となっている。次いで、「特に行っていない (33.3%)」「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている (32.6%)」、となっている。

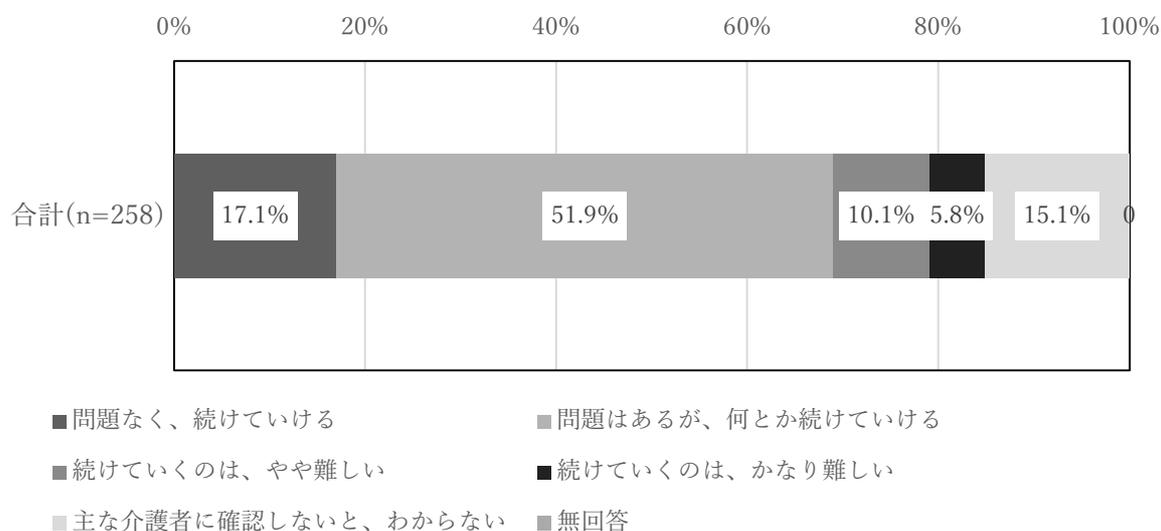
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



### (3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 51.9%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (17.1%)」、「わからない (15.1%)」となっている。

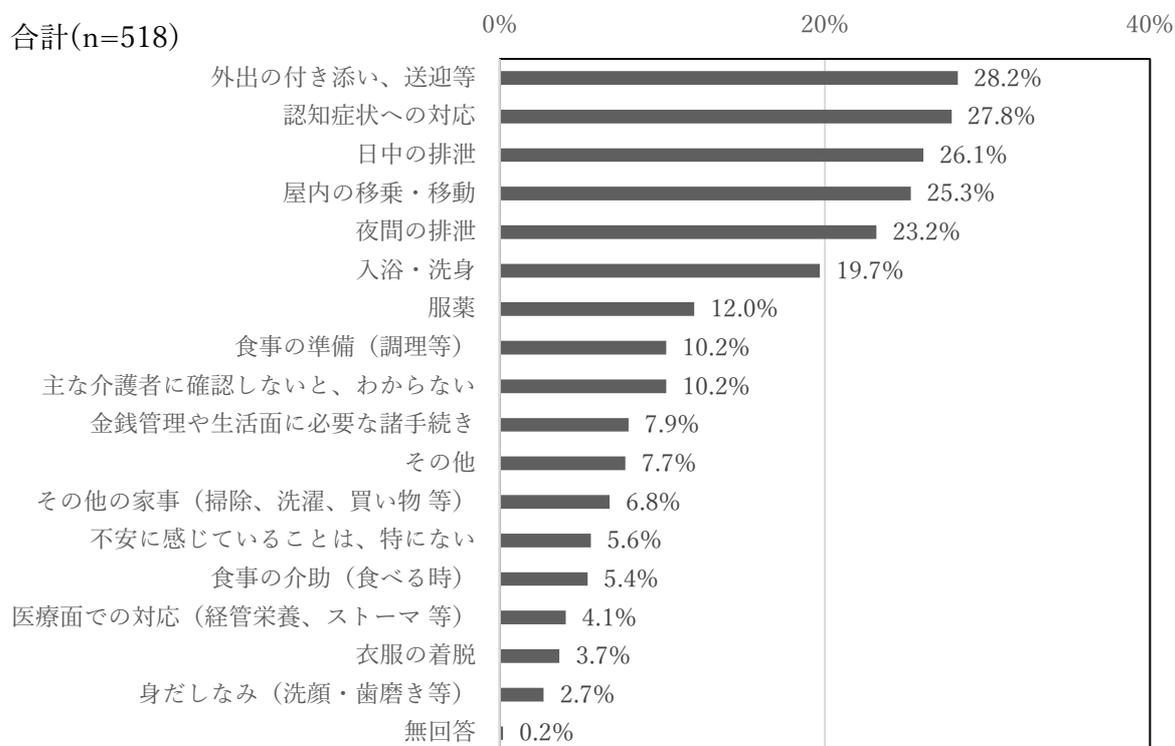
図表 2-3 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

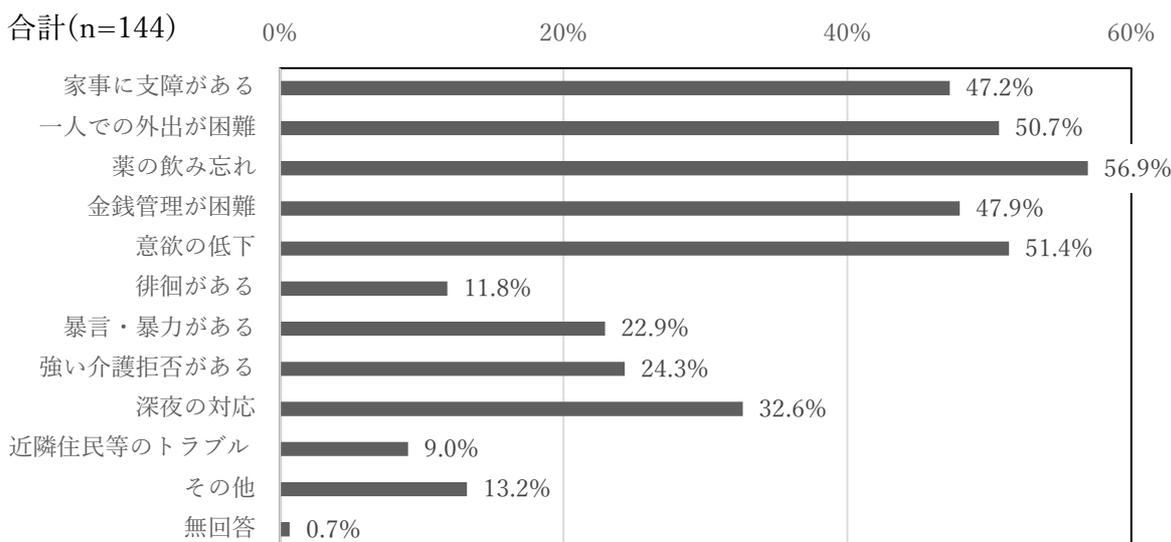
「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 28.2%となっている。次いで、「認知症状への対応 (27.8%)」、「日中の排泄 (26.1%)」となっている。

図表 2-4 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)



「認知症状への対応」については、具体的な症状を独自項目として設定した。

図表 2-5 ●具体的な症状 (複数回答)



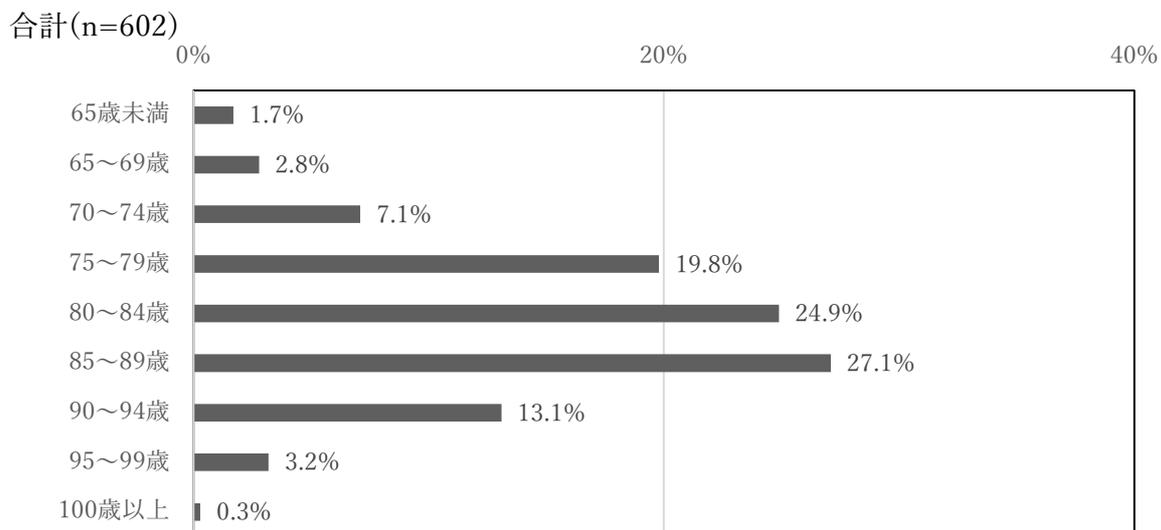
※その他の内容…留守番ができない、火の不始末、排せつ、物の紛失 など

## 4 要介護認定データ

### (1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く27.1%となっている。次いで、「80～84歳（24.9%）」、「75～79歳（19.8%）」となっている。

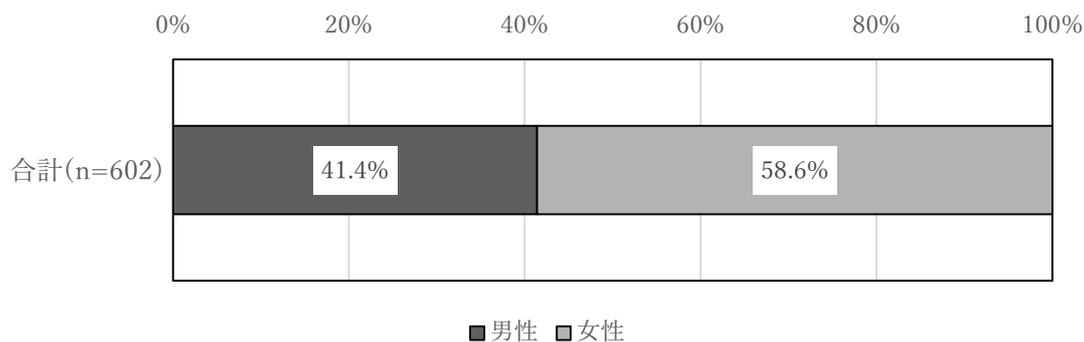
図表 3-1 年齢



### (2) 性別

「女性」の割合が最も高く58.6%となっている。次いで、「男性（41.4%）」となっている。

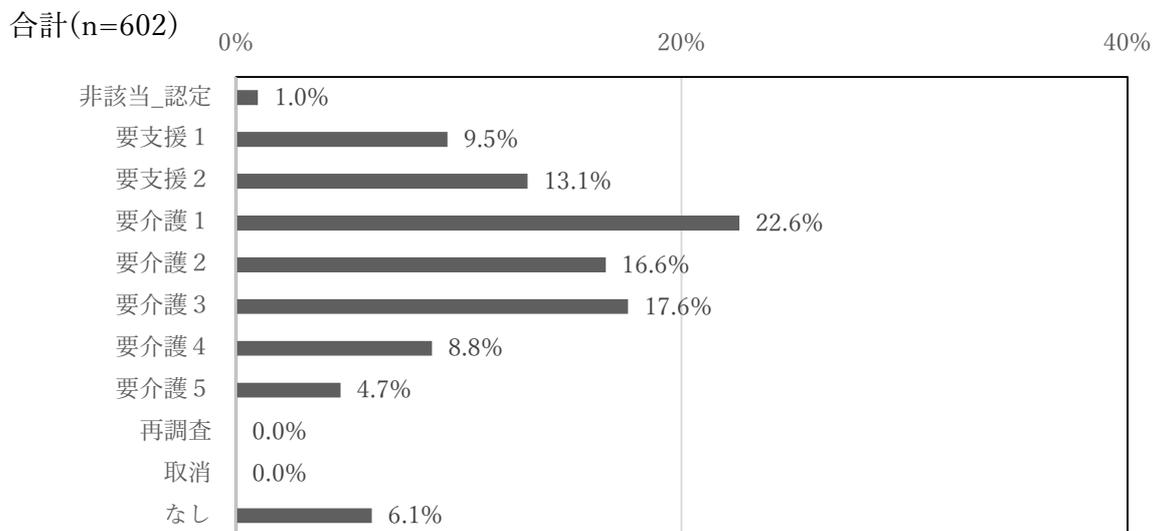
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く22.6%となっている。次いで、「要介護3（17.6%）」、「要介護2（16.6%）」となっている。

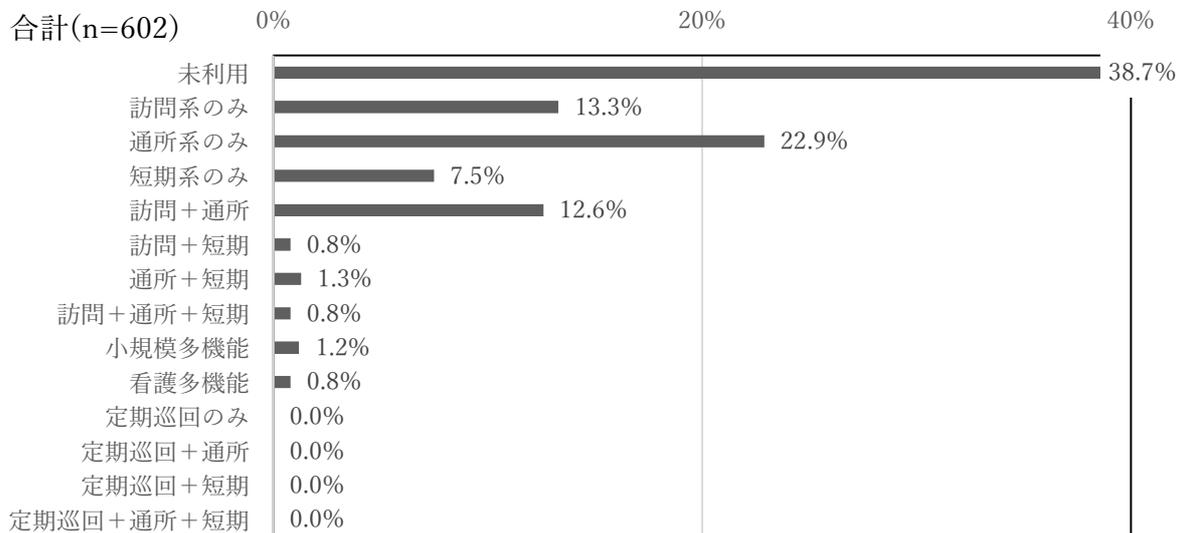
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「未利用」の割合が最も高く38.7%となっている。次いで、「通所系のみ（22.9%）」、「訪問系のみ（13.3%）」となっている。

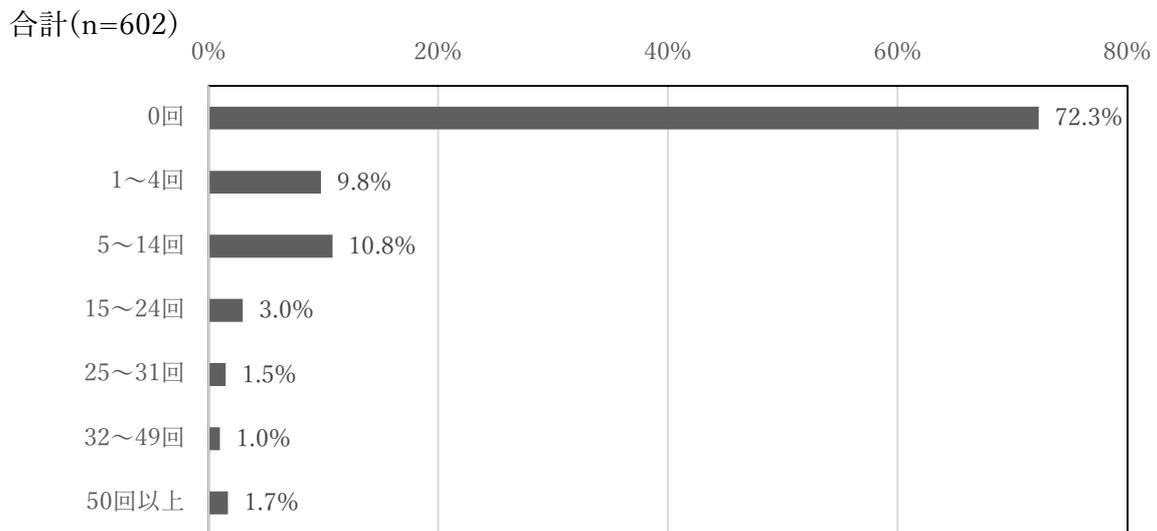
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く72.3%となっている。次いで、「5～14回（10.8%）」、「1～4回（9.8%）」となっている。

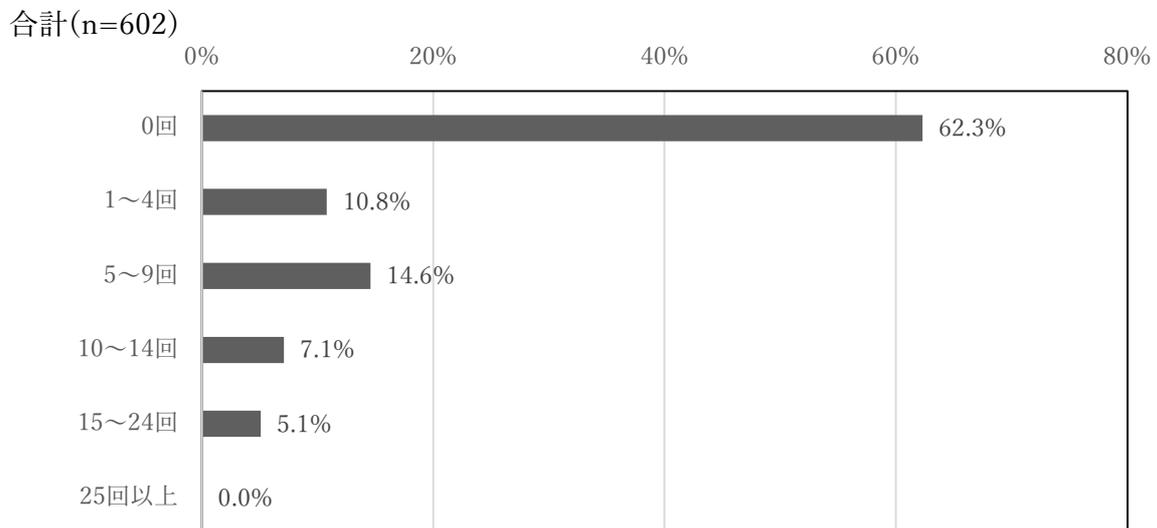
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く62.3%となっている。次いで、「5～9回（14.6%）」、「1～4回（10.8%）」となっている。

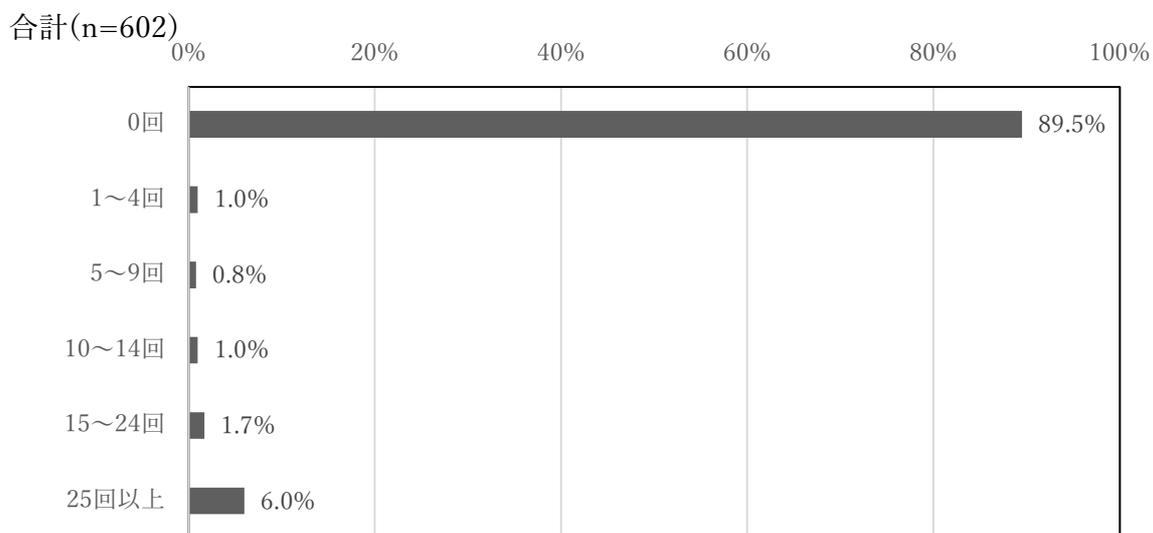
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 89.5%となっている。次いで、「25回以上（6.0%）」、「15～24回（1.7%）」となっている。

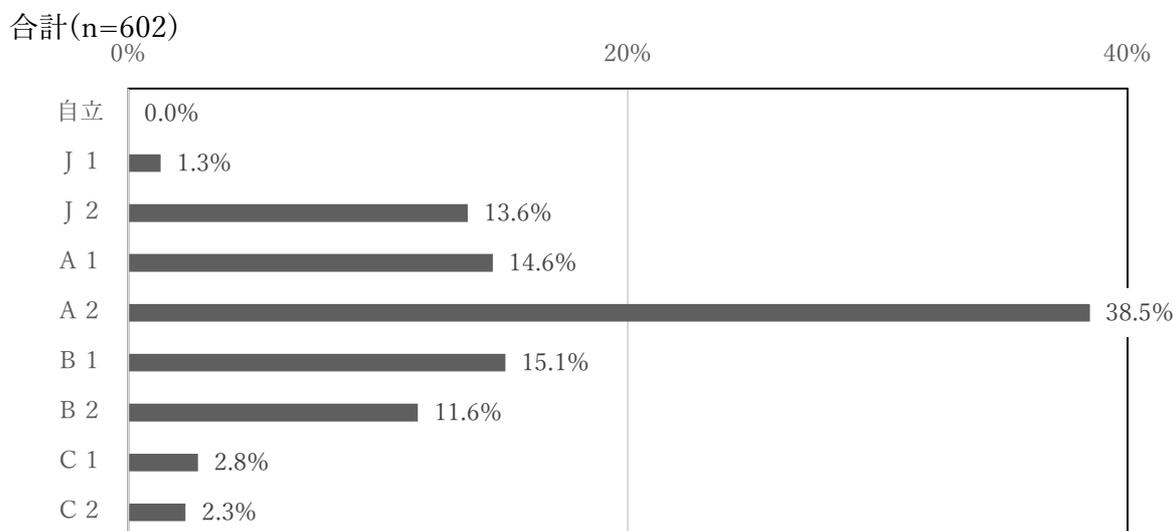
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A 2」の割合が最も高く 38.5%となっている。次いで、「B 1（15.1%）」、「A 1（14.6%）」となっている。

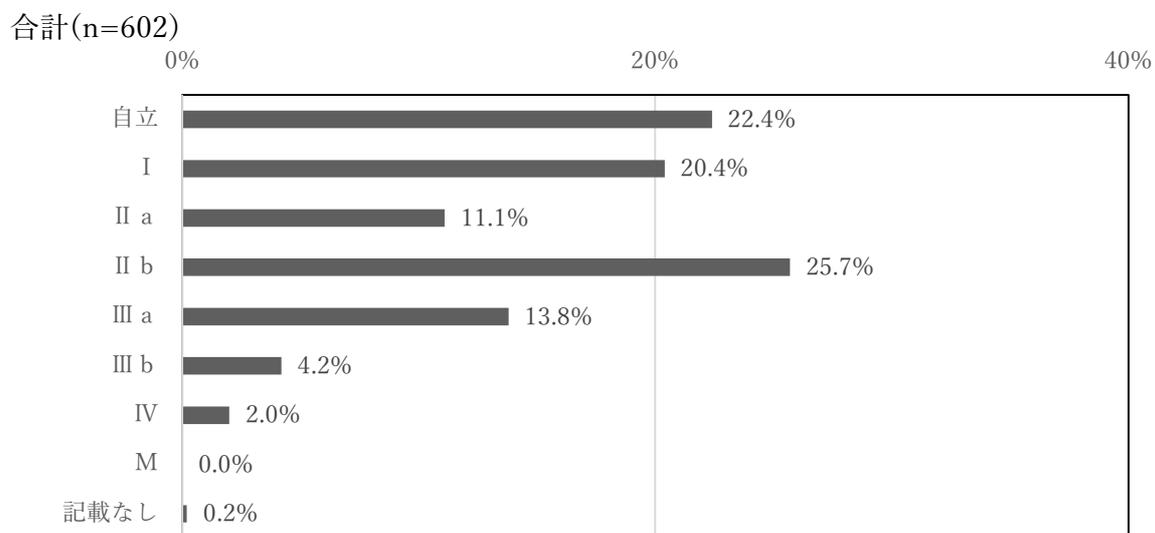
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱ b」の割合が最も高く 25.7%となっている。次いで、「自立 (22.4%)」、「Ⅰ (20.4%)」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



# 川越市在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号

1	0	0							
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

調査日：令和 年 月 日 調査員：

## A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】 **複数選択可**

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人       | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー    |
| 5. その他( )        |                     |

聞き取り相手	
<b>複数可</b>	

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問1

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか  
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)（1つを選択）

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| 1. ない(家族や親族からの介護が全くない場合)   | .....→ <b>問11 (4ページ) へ</b><br>2から5を選択した場合 <b>問3へ</b> |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない |  |
| 3. 週に1～2日ある                |  |
| 4. 週に3～4日ある                |  |
| 5. ほぼ毎日ある                  |  |

問2

問3 【問2で「2.」から「5.」を選択した場合】

介護者の方は、どなたですか(主な介護者に◎、そのほかの介護者に○) **複数選択可**

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 配偶者(同居・別居)   | 2. 子(同居・別居)    |
| 3. 子の配偶者(同居・別居) |                |
| 4. 孫(同居・別居)     | 5. 兄弟姉妹(同居・別居) |
| 6. その他(同居・別居)   |                |

問3				
◎は1つ記入、○は複数記入可				
1	同居		別居	
2	同居		別居	
3	同居		別居	
4	同居		別居	
5	同居		別居	
6	同居		別居	

**問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）**

1. 男性	2. 女性	3. その他(_____)	4. 回答しない
-------	-------	---------------	----------

問4

**問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）**

1. 20歳未満	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代
7. 70代	8. 80歳以上	9. わからない			

問5

**問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください 複数選択可**

<b>〔身体介護〕</b>	
1. 日中の排泄    2. 夜間の排泄    3. 食事の介助(食べる時)    4. 入浴・洗身	
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)    6. 衣服の着脱    7. 屋内の移乗・移動    8. 外出の付き添い、送迎等	
9. 服薬    10. 認知症状への対応    11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	
<b>〔生活援助〕</b>	
12. 食事の準備(調理等)    13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
<b>〔その他〕</b>	
15. その他(_____)	
16. わからない	

問6 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">複数可</span>														

問7 介護者の方の中に、18歳未満の方はいますか（1つを選択）

1. いる →問8へ	2. いない →問9へ
------------	-------------

問7

問8 【問7で「1. いる」を選択した場合】

その方の「就労・就学状況」と「行っている介護等」について、ご回答ください  
 複数いらっしゃる場合は、それぞれご回答ください

【就労・就学状況】（1つを選択）

1. 社会人   2. 高校生   3. 中学生   4. 小学生   5. その他( _____ )
---

【行っている介護等】**複数選択可**

<b>【身体介護】</b>
1. 日中の排泄   2. 夜間の排泄   3. 食事の介助(食べる時)   4. 入浴・洗身   5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱   7. 屋内の移乗・移動   8. 外出の付き添い、送迎等   9. 服薬   10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応(経管栄養、スーマ 等)
<b>【生活援助】</b>
12. 食事の準備(調理等)   13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)   14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
<b>【その他】</b>
15. きょうだいのケア   16. その他( _____ )   17. わからない

問8	就労・就学 状況	行っている介護等 <b>複数可</b>							
1人目									
2人目									
3人目									

問9 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) **複数選択可**

**※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。**

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	} →1から4を選択した場合問10へ
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	
3. 主な介護者が転職した	
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した	
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	} →5または6を選択した場合問11へ
6. わからない	

問9 複数可

問10 【問9で「1.」から「4.」を選択した場合】

仕事を辞めた、又は転職した理由について、具体的にご回答ください

自由記載欄

----- ここから再び、全員に調査してください -----

問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

**※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。**

1. 入所・入居は検討していない	2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

問11

問12 ご本人(認定調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか(1つを選択)

**※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。**

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

問12

問13 ご本人(認定調査対象者)は、現在、医療機関へ定期的な通院をしていますか(1つを選択)

1. 通院している⇒問14へ      2. 通院していない⇒問20へ

問13  
[ ]

【問13で「1. 通院している」を選択した場合、問14から問18について調査してください】

問14 通院している診療科目についてご回答ください(主なものを1つ選択)

1. 内科      2. 循環器科      3. 呼吸器科      4. 整形外科  
5. 脳神経外科      6. 眼科      7. 耳鼻咽喉科      8. 皮膚科  
9. 精神科      10. その他( )

問14  
[ ]

問15 問14でご回答いただいた医療機関の所在地をご回答ください(1つを選択)

1. 市内      2. 埼玉県内の市外      3. 都内      4. 関東県内(埼玉県、東京都を除く)  
5. その他( )

問15  
[ ]

問16 問14でご回答いただいた医療機関への通院の頻度をご回答ください(1つを選択)

1. 1年に1回程度      2. 半年に1回程度      3. 2~3カ月に1回程度  
4. 1カ月に1回程度      5. 1カ月に数回程度      6. 1週間に1回程度  
7. 週に3~4回      8. ほぼ毎日  
9. その他( )

問16  
[ ]

問17 問14でご回答いただいた医療機関への通院方法をご回答ください(1つを選択)

1. 徒歩      2. 自転車      3. 電車  
4. 本人の運転による車      5. 家族の運転による車      6. タクシー  
7. その他( )

問17  
[ ]

問18 問14でご回答いただいた医療機関への通院の際は、家族等が付き添いをしていますか(1つを選択)

1. 付き添いしている⇒問19へ      2. 付き添っていない⇒問20へ

問18  
[ ]

問19 【問18で「1. 付き添いしている」を選択した場合】

家族等のうち、どなたが付き添いをしておりますか(1つを選択)

1. 配偶者      2. 子      3. 子の配偶者      4. 孫      5. 兄弟姉妹  
6. その他( )

問19  
[ ]

----- ここから再び、全員に調査してください -----

問20 あなたには、健康状態や病気のことを相談する身近な、いわゆる「かかりつけ医」がいますか(1つを選択)

1. かかりつけ医がいる  
2. かかりつけ医はいないが、行く医療機関はだいたい決まっている  
3. かかりつけ医や、決まって行く医療機関はない

問20  
[ ]

----- これより先は、区分変更申請の方のみご回答ください -----

問21 前回の認定調査から、本日の認定調査までの期間に入院したことはありますか  
(1つを選択)

1. ある →問22へ                      2. ない →A票は終わりです

問21

問22 【問21で「1. ある」を選択した場合】

入院となったきっかけとなった主な病気は何ですか(1つを選択)

1. 脳血管疾患 (脳卒中)    2. 心疾患 (心臓病)  
3. 悪性新生物 (がん)    4. 呼吸器疾患            5. 骨折  
6. 認知症    7. その他 (                      )

問22

問23 【問21で「1. ある」を選択した場合】

入院以前、入院のきっかけとなった主な病気に関する服薬はありましたか  
(1つを選択)

1. あった →問24へ                      2. なかった →A票は終わりです

問23

問24 【問23で「1. あった」を選択した場合】

入院前、薬の飲み忘れはありましたか(1つを選択)

1. あった →問25へ                      2. なかった →A票は終わりです

問24

問25 【問24で「1. あった」を選択した場合】

飲み忘れの頻度について教えてください(1つを選択)

1. 1日に1回以上    2. 数日に1回    3. 週に1回  
4. ほとんどない

問25

----- A票はこれで終わりです -----

問2で「1. ない」 (家族や親族からの介護が全くない) を回答した方

⇒ 以上で **終了** です。

問2で「2. 」～「5. 」 (家族や親族が、何らかの介護を行っている) を回答した方

⇒ **B票の回答** をお願いします。

## B票

## 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答頂く項目

- 「主な介護者」が同席している場合 ⇒ 「主な介護者」の方に回答をお願いしてください
- 「主な介護者」が同席していない場合 ⇒ 「ご本人」(調査対象者の方)に回答をお願いしてください
- ご家族・ご本人の回答が困難だった場合は右記にチェックを入れてください** →

※ご家族等介護が全くない場合、ご家族・ご本人に回答をお願いすることが困難な場合は、以下は無回答で結構です。

## 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない



「1、2」の方は **問2** へ



「3、4」の方は **問4(2ページ目)** へ

問1

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

## 【問1で「1.」「2.」を選択した場合、問2および問3についてご回答ください

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか **複数選択可**

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「**労働時間を調整**(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「**休暇(年休や介護休暇等)**」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「**在宅勤務**」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、「**2～4以外の調整**」をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問2

**複数可**

## 問3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4

→ 2ページ目へお進みください。

----- ここから再び、全員の方にお伺いします -----

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください  
(現状で行っているか否かは問いません) (選択肢1~17の内、**3つまで**選択可)

<b>〔身体介護に関すること〕</b>	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べる時)	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応 → <b>問5へ</b>
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)	
<b>〔生活の援助に関すること〕</b>	
12. 食事の準備(調理等)	13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
<b>〔その他〕</b>	
15. その他	16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

問4			
<b>3つまで</b>			

➡問4で「10. 認知症状への対応」と回答していない場合は、B票にてお伺いする項目は終わりです

問5 問4で「10. 認知症状への対応」と回答した方にお伺いします。 **複数選択可**

理由となる具体的な症状は何ですか。

1. 家事に支障がある	2. 一人での外出が困難	3. 薬の飲み忘れ	4. 金銭管理が困難
5. 意欲の低下	6. 徘徊がある	7. 暴言・暴力がある	8. 強い介護拒否がある
9. 深夜の対応	10. 近隣住民等のトラブル	11. その他	

問5											
<b>複数可</b>											

「11. その他」と回答した方は、その理由を下記にご記入ください。

----- B票はこれで終わりです -----